

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

|   |   |
|---|---|
| (整理番号)<br>146<br>※記入不要  | <b>提案機関名</b><br>神奈川県漁業士会  |
| <b>要望問題</b> 磯焼けの防止、回復方策   |   |
| <b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】<br>長井、葉山、小坪地区の磯が、磯焼け現象を生じてカジメ場が減少している。<br>遊漁によるコマセや釣具の鉛などが海藻の生育に影響を及ぼしているのではないかと考えられるが定かでない。<br>潜水等による現状調査及び原因究明調査を行って、磯焼けの防止、回復方策を確立してほしい。 |   |
| <b>解決希望年限</b>   | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内  |
| <b>研究対応区分</b>   | <input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応    ②委託研究    ③共同研究    ④その他  |
| <b>対応を希望する研究機関名</b>   | ①農業総合研究所（ ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ）<br>⑤畜産研究所 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ）<br>⑨自然環境保全センター |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

|                |   |
|----------------|---|
| <b>回答機関名</b>   | 水産総合研究所   |
| 部 署            | 栽培技術部   |
| <b>対応区分</b>    | <input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可   |
| <b>試験研究課題名</b> | (①、②、④の場合)<br>アワビ・サザエ漁場高度利用技術開発   |
| <b>対応の内容等</b>  | 当所では、平成14年度から3ヵ年で人工衛星画像による磯根漁場分布の把握、潜水調査によるアワビ・サザエ等の生息密度調査及びアラメ・カジメ等の分布密度調査等を相模湾側の三浦半島各地で実施しています。<br>本県では、最近西日本各地で発生している磯焼け（短期間内に広範囲の藻場がまるで森林火災の焼け跡のように茎だけを残し、藻場が長期間回復しない状態）は現在のところ発生していません。しかしながら、本県においても過去に台風によってカジメ藻場が壊滅的な被害を受けた事例があり、また現在においても水深や海底基質によっては藻が繁茂しにくい場所があることは認識しています。<br>現在、長井、葉山、小坪地区において、磯焼けによりカジメ場が減少しているとの認識は、ありませんが、今後、漁協などからの情報や現在実施している潜水調査などで、対策が必要と判断される磯焼けが確認された場合には、現状調査及び原因究明調査を行い、磯焼けの防止及び回復方策を検討してまいります。 |
| <b>解決予定年限</b>  | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内  |
| <b>備考</b>      |   |